



※『開発的チャレンジ』の本質は「過去の自分」を手放して『もう一人の自分』になること

仕事人生 & 人生の折り返し地点を過ぎ、不遇な立場に置かれたり、自分の存在が弱まってくると、「自分は何者なのか？」とか「これからどうすればいいのか？」という問いに直面するようになる

BST
コメント

そのような時には、向ける視点の方向を「自分」から「他者」に切り換えてみる。——つまり、「自分のため」から『他者のため』に転換し、他者を支援すること／他者から感謝されることに「背伸び」(＝ストレッチ)を試みる。他者からの感謝は、弱っている自分や／途方に暮れる自分を再生させ、自分を取り巻く状況を反転させてくれます。この「背伸び」することが『開発的チャレンジ』となります

再起動

「人生の目的」に照らして、答えを見つける。一つの答えが、今の会社にいるうちに「新たな役割」に『開発的チャレンジ』して、自分を『広く社会で通用する人材に再生する』＝「現在の200%の人材になっておく」こと——例えば「限界が見えた」と思っている50代が『再起動』することが、後進および会社全体に好影響を与えます。また将来の転進先企業にも／社会全体にも好影響を与えます